



舩もやい

学校ホームページへ
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1728/>

学校ホームページ
 QRコード→



"GRIT"「やり抜く力」

全校朝会等で、子どもたちには常々「何事も続けることに意味がある」ということを伝えていきます。3学期の始業式でも、この3ヶ月間でがんばることとして、

- ①「わかる、できる」を一つでもふやす
- ②「あたりまえ、やるべきこと」をしっかりと続ける

という話をしました。この「続ける」に関して、以前お世話になった方がご自身のコラムに取り上げられていた"GRIT"（グリット）という言葉思い出しました。

"GRIT"とは「やり抜く力」と訳されるもので、
Guts(ガッツ) へこたれずに挑戦する
Resilience(レジリエンス) 失敗にめげずに立ち直る
Initiative(イニシアチブ) 目標を決めて自発的にやる
Tenacity(テナシティ) 他に影響されずにやり遂げる
 の4つの言葉の頭文字をとったものです。

ある心理学者が「人生を豊かにする"かぎ"は何か」について専門的な調査と研究を行った結果、必要な要素として「何事にもあきらめずに長期間忍耐強くやり抜く能力」が大切だというGRIT理論にたどり着きました。

成功するかどうかは、生まれ持った才能や環境によってのみで決まるのではなくGRITが重要であり、それはトレーニングによって伸ばすことが可能であると言われています。

子どもたち一人一人が持っている力や可能性を十分に発揮できるようにする上でも、小学生のこの時期にこそ学校や家庭で、

G:「ガッツ」 **R:「レジリエンス」**
I:「イニシアチブ」 **T:「テナシティ」**

の4つを身に付けさせるためのしかけや声かけを、周囲の大人が積極的に行っていくことが大切なのではないかと考えたところです。

ただ、いろいろな文献を読むと、子どもが自分で決めたこととは言え、あまりにハード過ぎることは「区切りのいい所までは続ける」ことを条件に「新たなチャレンジへの変更もOK」とも書いてありました。日頃のコミュニケーションで子どもの思いを知ることや柔軟さが大切だということでしょうね。

今後も「なりたい自分」に近付くために「続けること」がポイントになることを伝えながら、学校での様々な活動をとおして、"GRIT"「やり抜く力」を育てていけたらと考えています。

能登半島地震に思う

1月1日夕刻に起きた能登半島地震の被害は、その甚大さが連日更新され、報道されています。本当に胸が痛むばかりです。

改めて地震・津波の怖さを実感するとともに、自分の中で、13年前の東日本大震災の時に強烈に感じていたはずの災害への備えの思いが、時を経てすっかり薄まってしまっているということに気付かされました。



写真は校門のフェンスにある看板ですが、東海東小学校は海との関係で見ると、表示されているような所に位置しています。

津波時の避難場所としては、本校南校舎3階が指定されていますので、地震・津波が発生した時に、どのような避難の仕方が大切なのかを改めて子どもたち、そして職員と確認していきたいと思います。

延岡市津波ハザードマップ(R5.6改訂)によると、津波時に学校周辺は1.5～3.0mの浸水が想定されています。また、校区内にある「津波避難場所・ビル」もこのハザードマップに記載されていますので、延岡市役所ホームページ(下記アドレス)でぜひご確認ください。 下をタップ
<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/15/3338.html>

今後もこのことについては地域や学校関係者、保護者の皆様とともに考えていけたらと思います。ご家庭でも改めてお子さんと話題にしていただけるとありがたいです。

2月の行事予定

- 6日(火) 集金日
- 8日(木) 3年クラブ見学(15日も)
- 9日(金) 新入児保護者説明会(午後)
- 11日(日) 祝日：建国記念の日(12日振替)
- 14日(水) 劇団四季公演鑑賞5年
- 15日(木) 読み聞かせ会
- 23日(金) 祝日：天皇誕生日
- 26日(月) 参観日4～6年(午後)
- 27日(火) 集金日・卒業式練習①
- 29日(木) 参観日1～3年(午後)

